

令和3年度「史跡若杉山辰砂採掘遺跡」普及啓発講演会 朱を考古学する part5「水銀朱の生産と使用」開催について

「若杉山辰砂採掘遺跡」は弥生時代後期から古墳時代初頭における全国唯一の辰砂採掘遺跡で、令和元年10月に国史跡に指定されました。指定後も「若杉山辰砂採掘遺跡」に関わる調査研究がされており、その実態が徐々に明らかとなってきました。今回、若杉山で採掘された辰砂鉱石がどのような生産過程を経て水銀朱となり、それがどのように使われているのかとすることをテーマにした講演会を実施いたします。本講演会では島根県出雲市のご担当者をお招きし「出雲地域における水銀朱の消費実態」のお話しをしていただきます。

日 時 10月16日（土）
開会 13：30（受付開始：12：30）
閉会 16：30

場 所 コスモホール（阿南市情報文化センター）

定 員 200人

※要申し込み・入場無料

※往復はがきでの申し込み、締め切り9月30日（木）チラシ参照

講演内容

講演1 『辰砂から水銀朱をつくる』

徳島県立博物館 学芸員 植地 岳彦 氏

講演2 『出雲地域における赤色顔料の調達と使用、その意味』

出雲市市民文化部 出雲弥生の森博物館

博物館学芸係 坂本 豊治 氏

問い合わせは 文化振興課（☎22-1798）へ